

# 日本原水協活動交流ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 - 5842 - 6031  
FAX：03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年  
11月1日発行

## 全労連が署名用紙 22 万枚を新たに活用 「ヒバクシャ国際署名」を軸に反核世論を高めることが成功のカギ

全国労働組合総連合は10月31日、長尾ゆり副議長名で「世界大会 in ニューヨーク・NPT ニューヨーク行動成功に向けて」と題する連絡文を各単産・地方組織に発信しました。

この文書は10月21日の第30回全労連常任幹事会において確認し、ニューヨーク世界大会・行動の意義と内容、全労連の取り組み方針も確立しています。

方針の中では、「何よりも『ヒバクシャ国際署名』を軸に反核世論を高めることが成功のカギをにぎる」と強調され、11月の6・9行動に合わせて日本原水協の「ヒバクシャ国際署名」用紙と署名ノボリ（2枚1組）を届けるので、県原水協の皆さんと一緒に活用してほしいと呼びかけています。

「当初20万枚注文の予定だったのが22万枚になったのは、自治労連1万8千枚の要請に対して3万枚、大阪労連1万の要請に対して1万3千枚の注文があったこと、そして広島と長崎の県労連は、被爆地としての役割を果たそうと積極的に受け止めてくれたからです」と長尾副議長は話します。

全労連は11月14日の幹事会の後でニューヨーク行動に向けた「単産代表・ブロック代表・単産平和運動担当者会議」をおこない、方針について確認することになっています。

### 【大阪】「旭区『ヒバクシャ国際署名』の会」結成むけ幅広く呼びかけ

大阪原水協が10月30日に開催した定期総会での、旭区原水協の佐藤善次郎事務局長の発言が「具体的で網羅的」だと評判です。以下、佐藤さんから寄せられた手記を紹介します。

毎月、6・9行動として千林（せんばやし）商店街で「ヒバクシャ国際署名」宣伝活動にとりくんでいます。雨の日も休まず続け、多い時には10人以上が参加し、50人ほどしていただけることもあります。

また、毎年、原水爆禁止世界大会、3・1ビキニデーに代表派遣をしています。

被爆の実相をひろげるとりくみとして、旭区民センターギャラリーで「原爆展」を開催、2年前からは広島の被爆者が描いた原爆の絵をパネル展示。多くの方にとりくみを知ってもらうため、連合町会会長を訪問して町会回覧を依頼。今年は10ある連合町会のうち、7つの連合町会で回覧を引き受けていただきました。

さらに、核兵器廃絶の思いを深めるとりくみとして、11月末に映画『ひろしま』自主上映会を計画しています。

このような活動内容を共有するため、「旭区原水協通信」を随時発行しています。

今日は特に、「旭区ヒバクシャ国際署名の会」結成に向けてのとりくみについて報告します。

2019年定期総会時の旭区原水協「ヒバクシャ国際署名」到達は4913人分でした。

総会では、2020年NPT再検討会議までに署名累計1万人分をめざすことを決めました。

保育・福祉労組などの活躍もあり、署名を5千人分近くまで積み上げてきましたが、これを1年間で倍にするには、署名推進の主軸である平和の会、ヘルスコープ、新婦人が更に頑張ってもなかなか届きません。自分たちの輪をひろげるだけでなく、別の輪をつくる必要があります。そのための会ですが、会を立ち上げるにあたって自分たちが呼びかけ人になっても新しい輪はできません。

そこで、大阪原水協に紹介していただいた核戦争防止国際医師会議大阪府支部長である安田クリニック院長に発起人になっていただいて、「旭区ヒバクシャ国際署名の会」の結成にむけ、これまでつながりのなかったところで賛同人をつのることにしました。

訪問対象は教会、神社、お寺で、住所はタウンページとインターネットで検索しました。

これまでのところ、教会は3つを訪問、1つは署名用紙を預かっていただき、29人が寄せられました。また1つの教会の司祭に賛同人になっていただきました。

神社は2つを訪問、1つは応対していただいた方に署名をしていただきました。

お寺は住職が留守のことも多く、なかなか進みませんでしたが、8つのお寺で応対していただき、署名用紙を預かっていただいたお寺が2つ、賛同人になっていただいたお寺が3つです。

11月の役員会で「旭区ヒバクシャ国際署名の会」入会よびかけをまとめ、旭区のさまざまな団体、個人を訪問する計画をたてるつもりです。

この会の目的は、新しい署名の輪をつくり、署名の飛躍をうみだすことです。もう一つの意義は、この活動をつうじて、核兵器をなくそうという多くの声があること、このような運動があることを知ってもらうこと、そして日本政府が核兵器廃絶にどのような態度をとっているのか注目してもらうことです。

グレタ・トゥンベリさんの国連気候サミットでの発言、「未来の世代の目は、全てあなたたちに向けられているのです」のように、日本政府が核兵器にたいしどのような態度をとるのか、すべての国民が実情を知り、しっかり見つめる必要があります。そして、意に反する態度を日本政府が取り続けるなら、「許さない」ということを行動で示さなければなりません。

最後に、旭区原水協はニューヨーク行動に代表を派遣します。その資金をつくるために振替口座を開設し、赤い印字の払込取扱票を1600枚用意、幹事団体におろしました。募金とかたちでの多くの支援を力に、ニューヨークで頑張り、楽しんでほしいと思います。